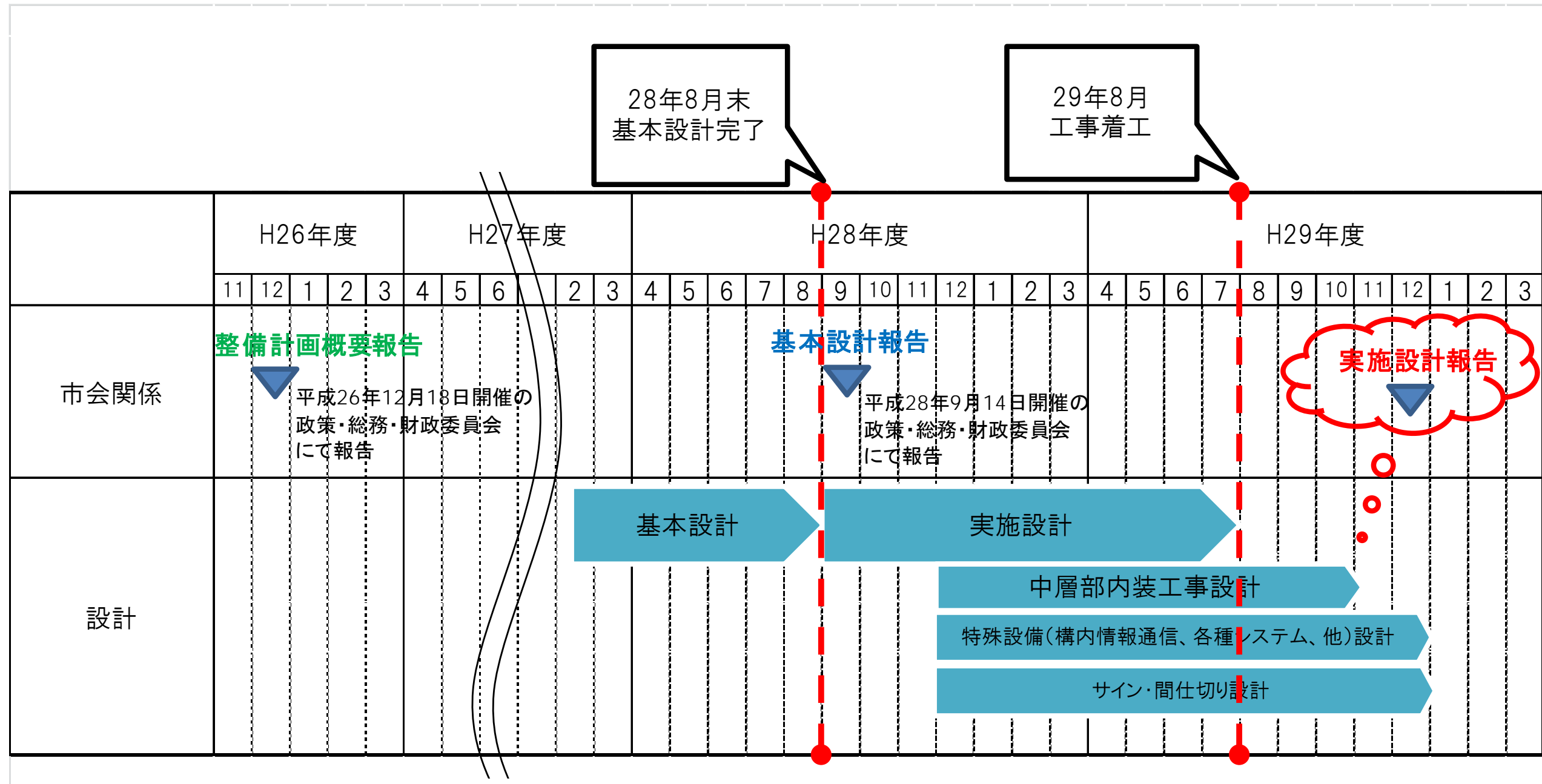


◎実施設計報告



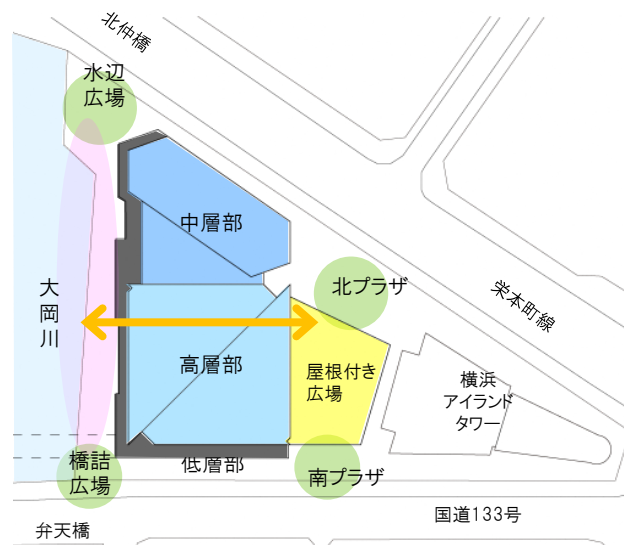
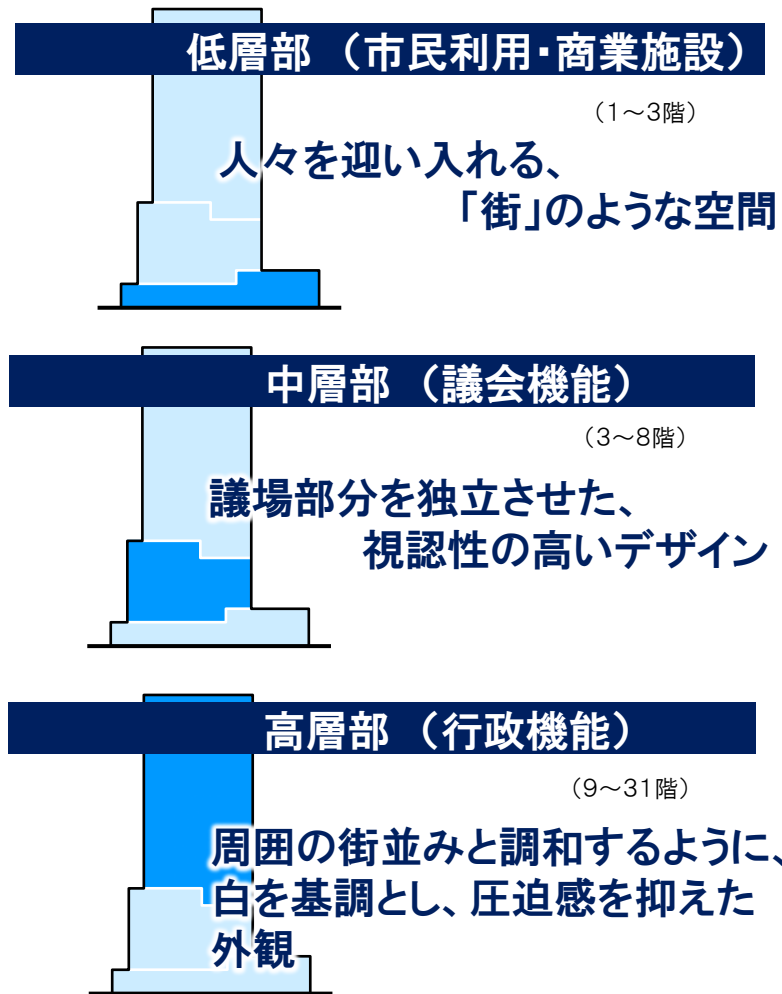
○基本設計報告時点からの主な更新点

- ① 工事着工に先立ち、29年7月に建築確認申請を行うとともに、**建物の面積等の精査**を行った。
- ② 各諸室や機能などの与条件を更に精査し、細部にわたる**詳細な設計**を進めた。
- ③ 屋根付き広場や議場など必要な**設備の設計**を進めた。
- ④ 障害者団体や福祉部局等との協議を進め、**ユニバーサルデザイン**の内容を精査した。
- ⑤ 建物以外の計画である**外構、植栽、サイン**などの設計を進めた。

建物構成

低層部は十分な天井高を確保した開放的な空間とし、多様な活動、にぎわいを創出する屋根付き広場や市民利用施設、商業利用施設を配置し、市民に開かれた市庁舎を実現します。

また、3～8階の中層部に三層吹抜けの議場を含む議会機能、さらにその上層の高層部に行政機能を配置します。



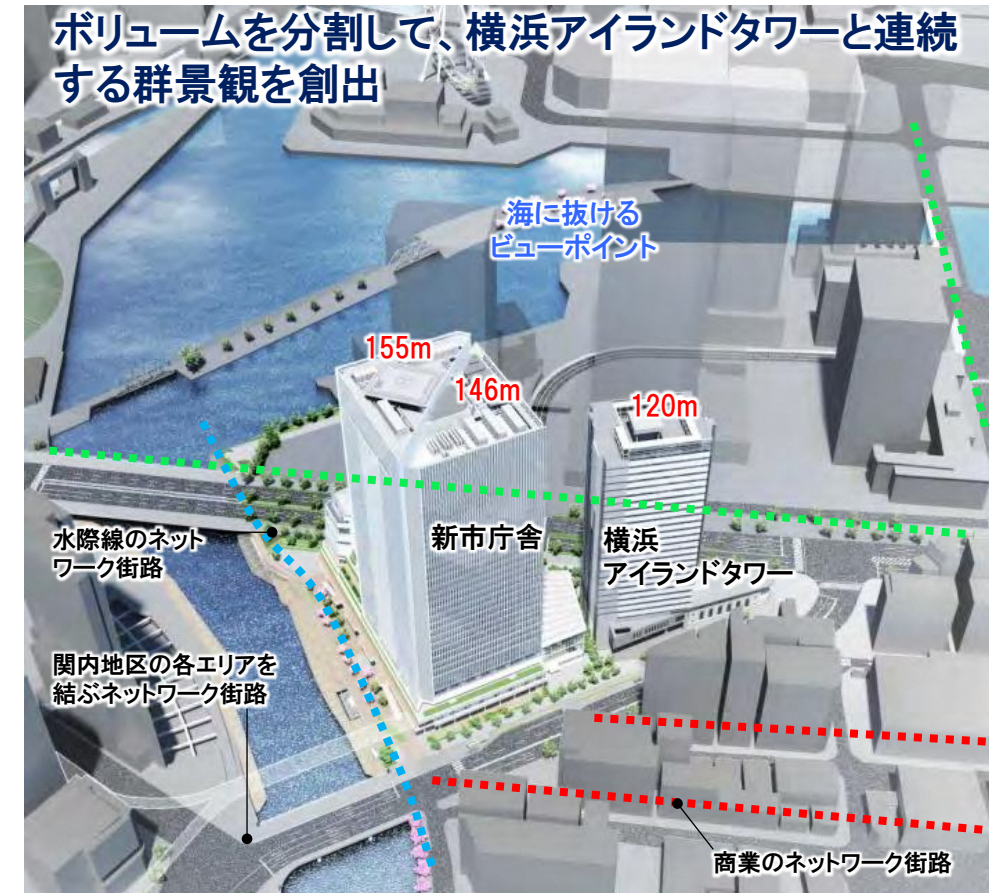
デザイン



海から港、そして街へ繋がる新市庁舎

海や対岸からの眺望において開放的で品位ある「白系」の基調色デザイン

▲大棧橋より新港地区方面を眺める



▲結節点として周りの街並みのスケール・軸線に配慮した建物配置と空間構成
海に抜けるビューポイントを尊重した高層棟配置

建築概要

- 敷地面積: 約13,160㎡
- 延べ面積: 約143,450㎡
- 建物規模: 地下2階/地上32階/塔屋2階
- 最高高さ: 約155 m
- 構造: 鉄骨造(柱コンクリート充填鋼管造)等
中間層免震構造+制振構造
- 基礎: 杭基礎(場所打コンクリート拡底杭)+直接基礎
- 工期: 平成28年2月24日～平成32年5月29日

1階平面図



水際線プロムナード沿いの商業施設



市民協働・共創スペースなど低層部には木材利用を促進

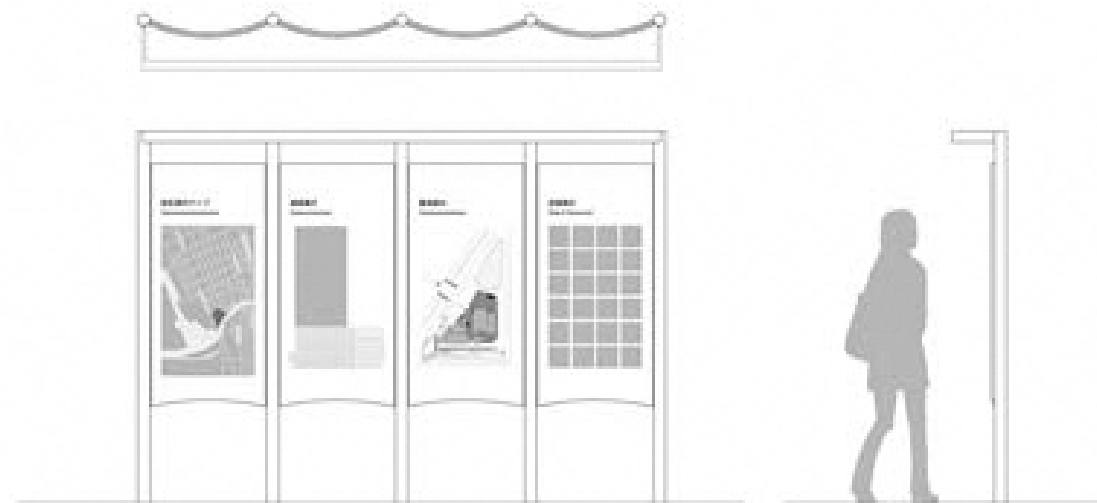


水辺に面した市民協働・共創スペースは水際線プロムナードと一体的な利用が可能

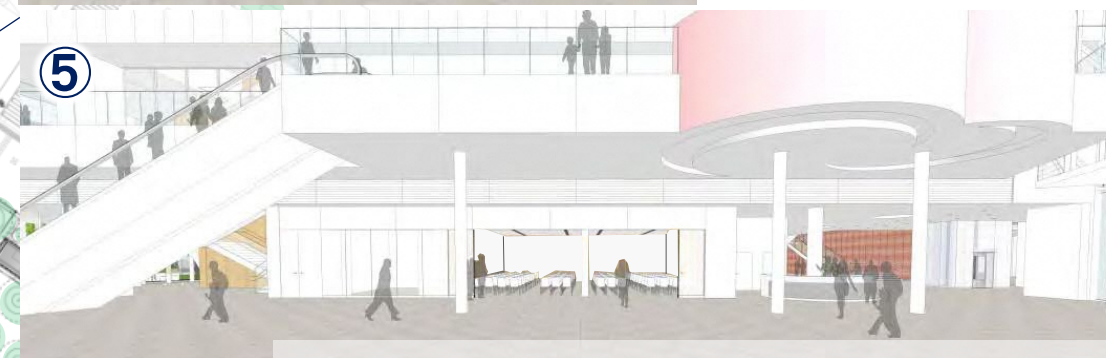


南側の通路に面して開放的な展示スペース

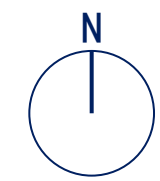
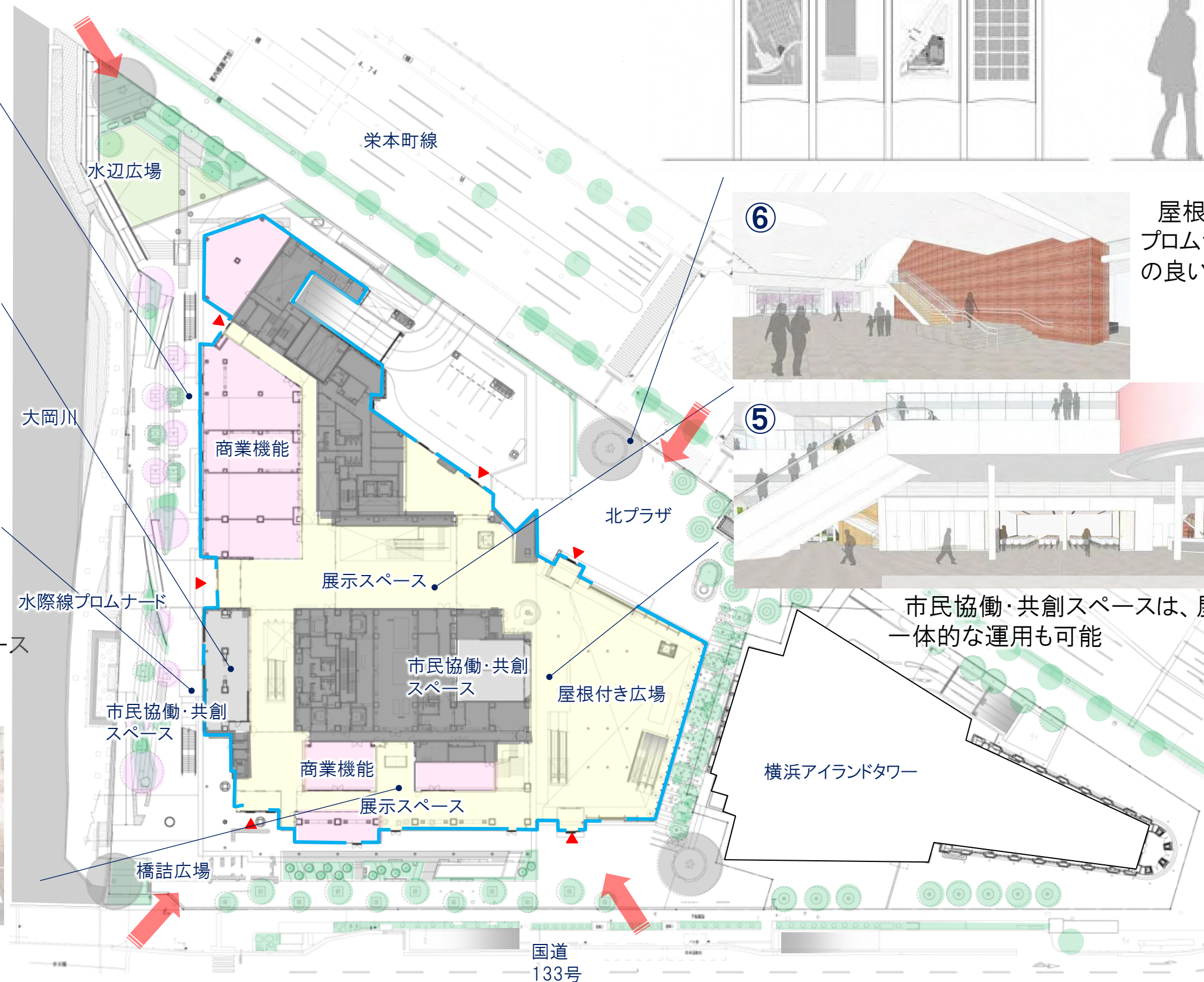
⑦ 主な出入口に設置する施設総合案内サイン



屋根付き広場と水際線プロムナードを結ぶ、見通しの良い明るい吹抜け空間



市民協働・共創スペースは、屋根付き広場と一体的な運用も可能



① 内観パース



270インチモニター
設置

④ 昇降式ステージ

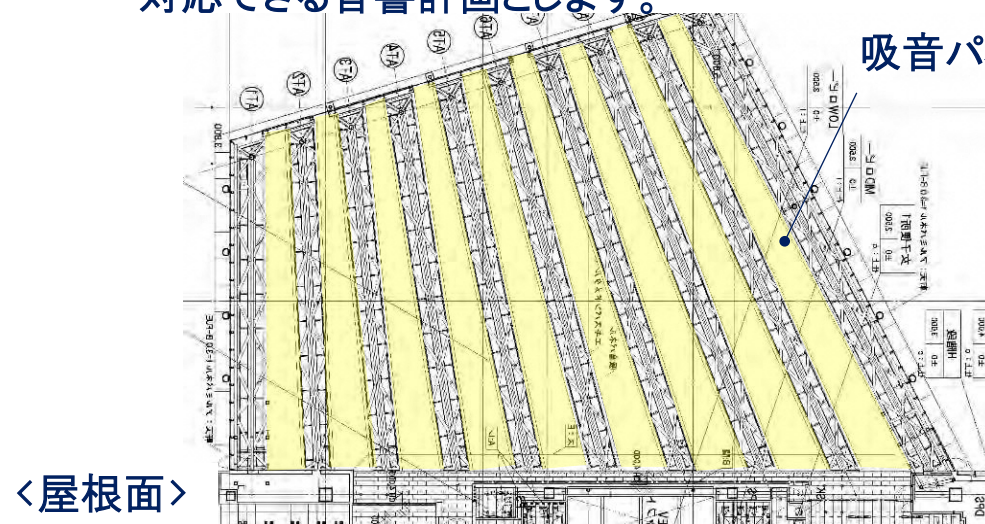
東側には 大きさ3m×6m 高さ調節
のできる昇降式ステージを設けます。



ステージイメージ写真

⑤ 吸音パネル

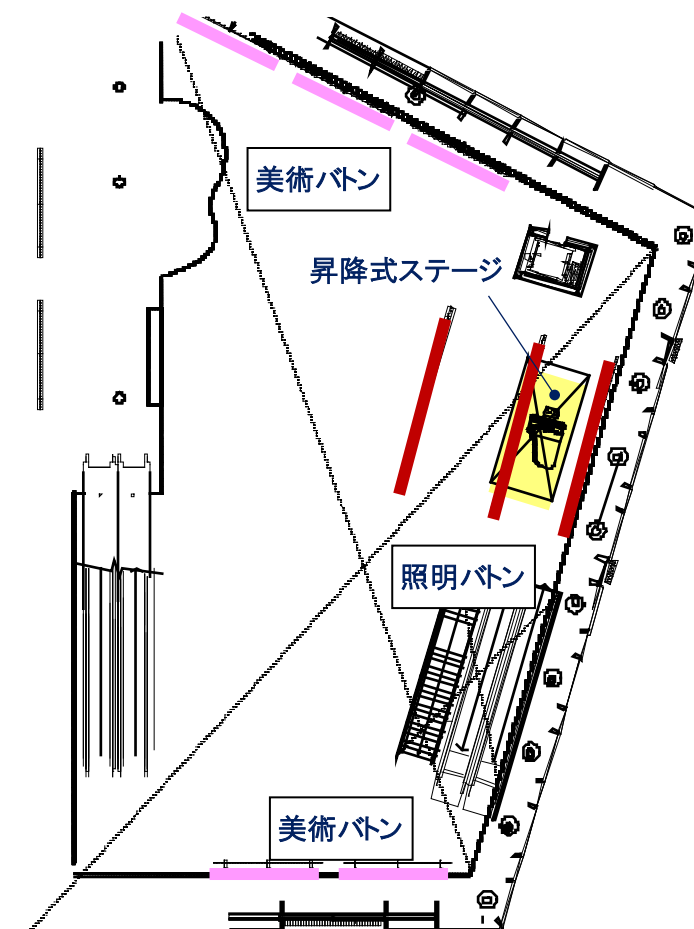
屋根面や壁面に吸音パネルを設けミニコンサート等にも
対応できる音響計画とします。



<屋根面>

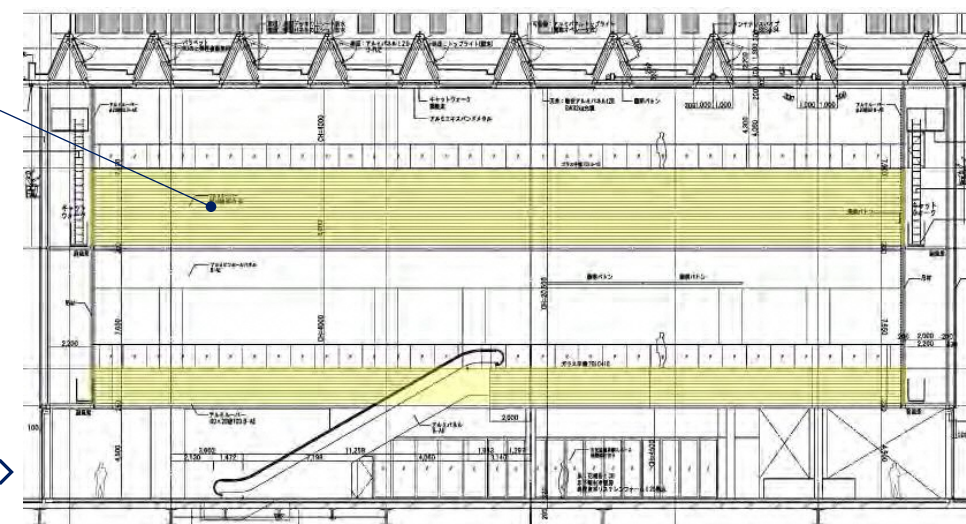
② 吊りバトン

昇降式ステージを照らす照明器具を吊るす
照明バトンや、横断幕を吊るす美術バトンを
設置します。



③ 空調

天井高約20mの屋根付き広場を効率よく空調するため、
床輻射空調+床吹出空調の併用 とします。

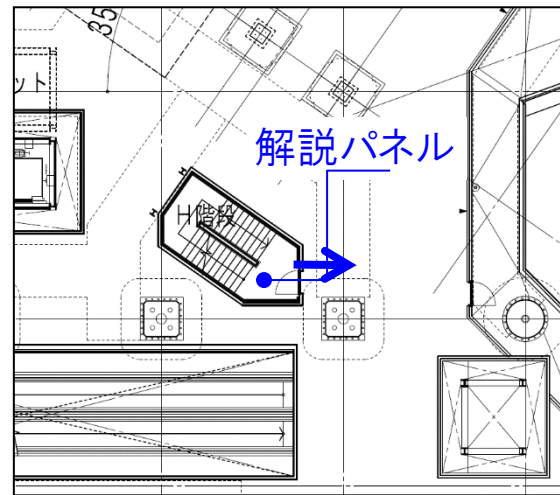


<壁面>

2階平面図

3階平面図

①2階と3階の間にある免震層を見学窓から見学できます。また、免震装置の解説パネルを展示します。



見学窓の例
(国立西洋美術館)



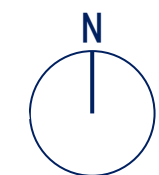
水辺を眺めつつ通行できる2階デッキ



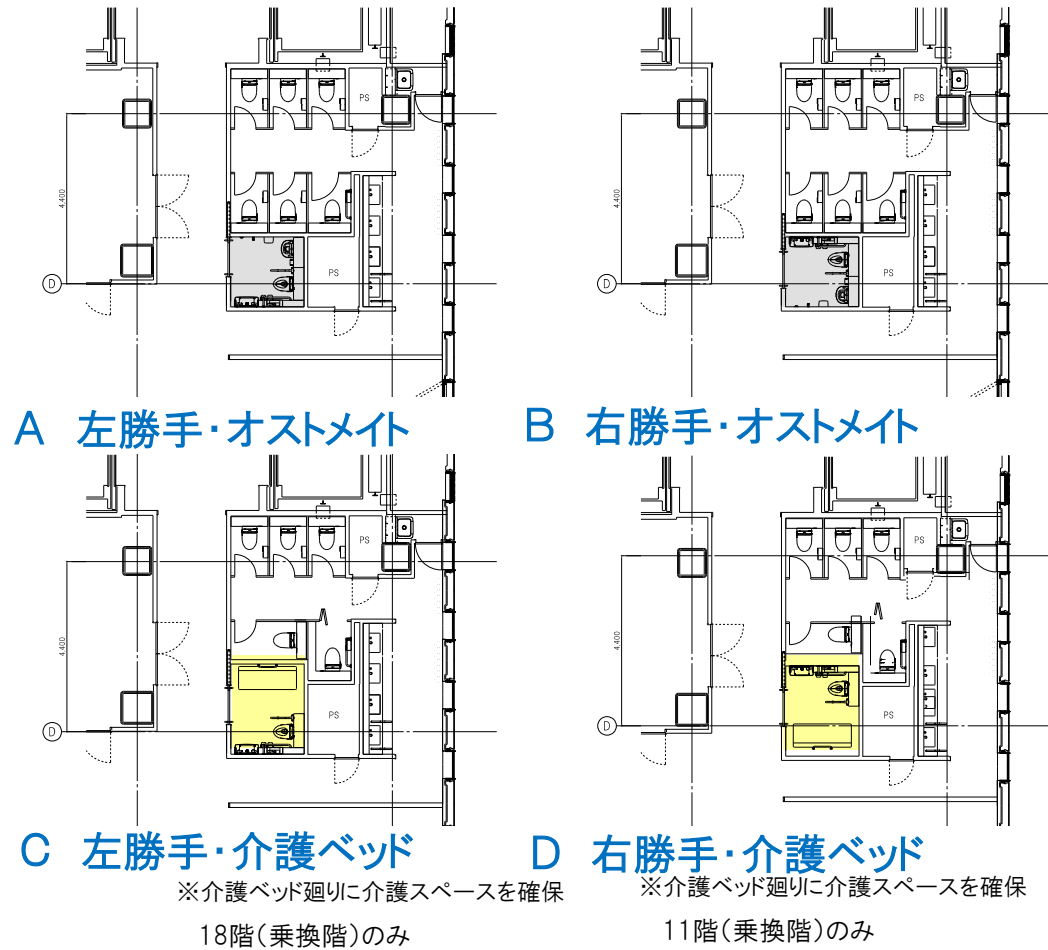
③ 市民の皆様が利用できる展望ラウンジ



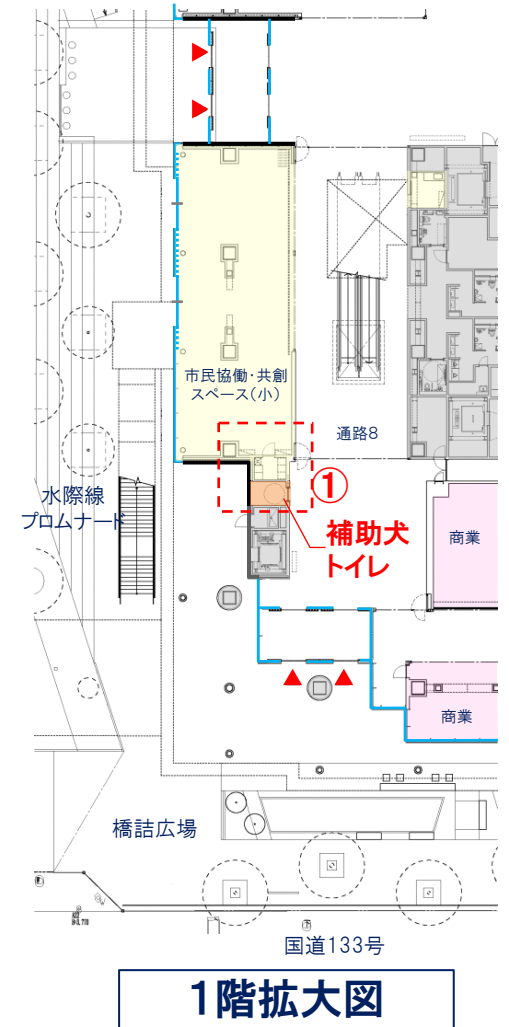
④ 行政部分と議会部分へのエントランスを有した受付機能を持つグランドロビー



① **基準階多目的トイレ**
 複数のレイアウトパターンを用意し、右麻痺・左麻痺への配慮等、さまざまな利用者に配慮した計画とします。

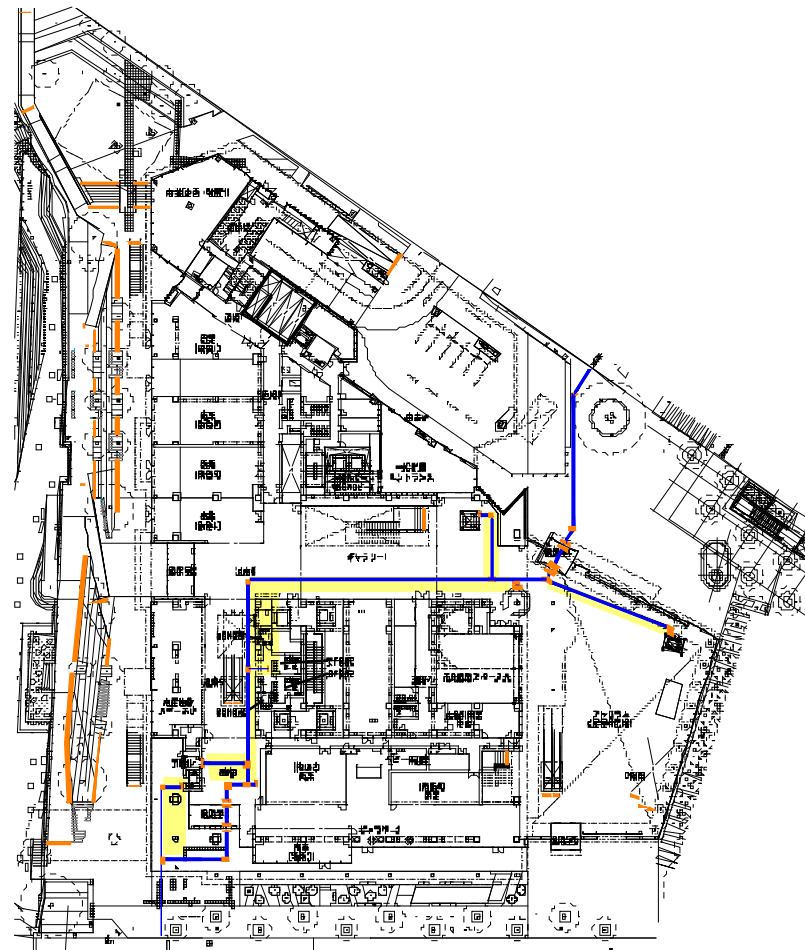


② **補助犬トイレ**
 外気に面する屋内空間に設置します。

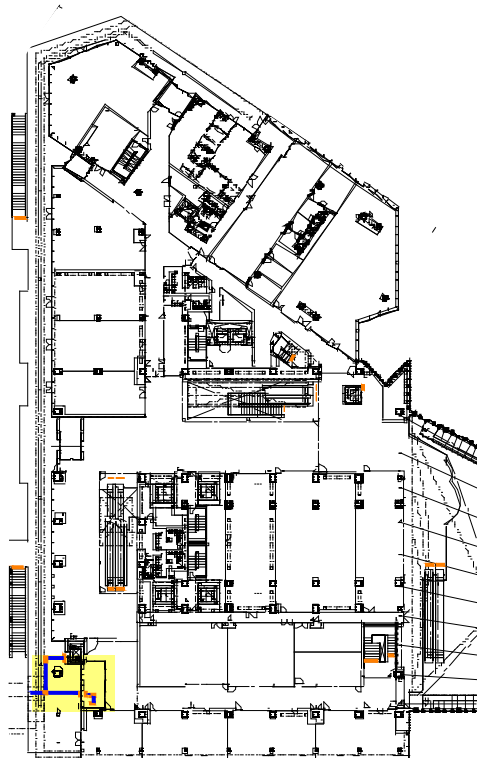


③ **誘導ブロック (1-3階)** どなたにも使いやすい庁舎とするため、グランドロビーまでの誘導ブロック設置範囲を拡張

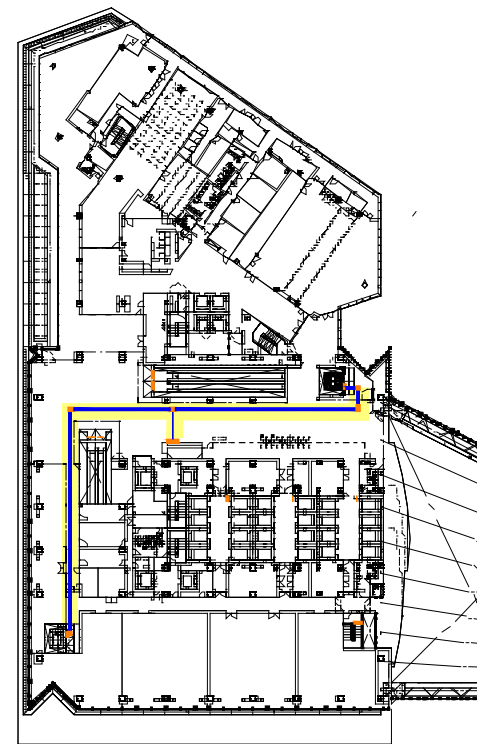
1階



2階

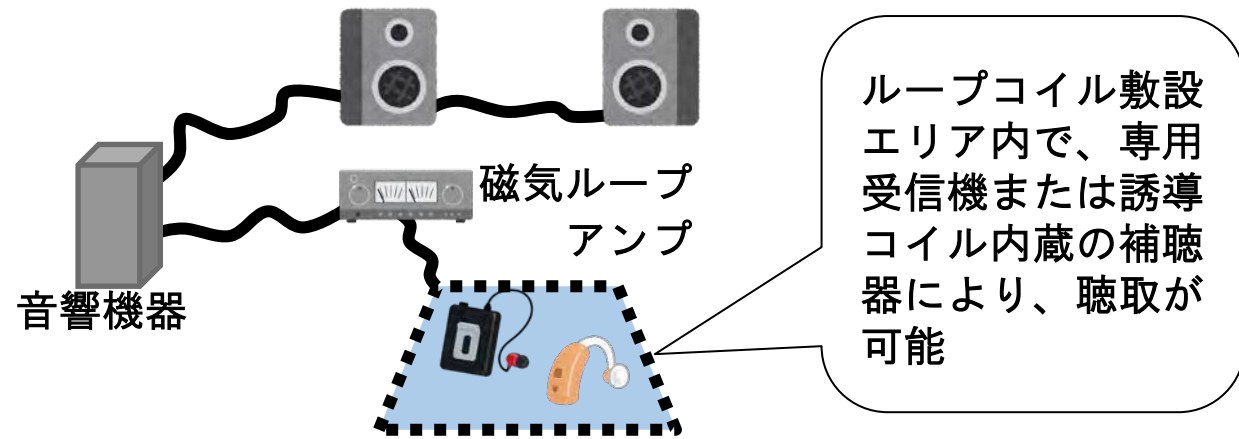


3階

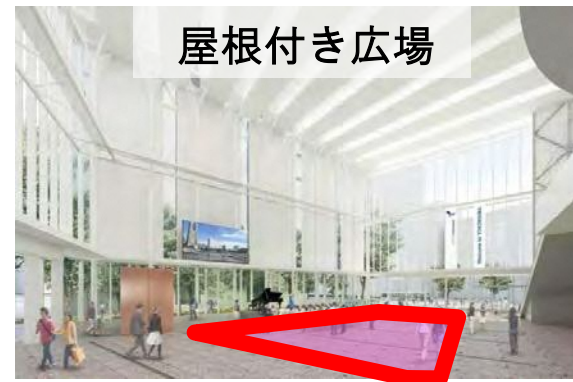


凡例
 — 誘導ブロック
 — 基準以上の設置範囲

① 磁気ループ補聴システム



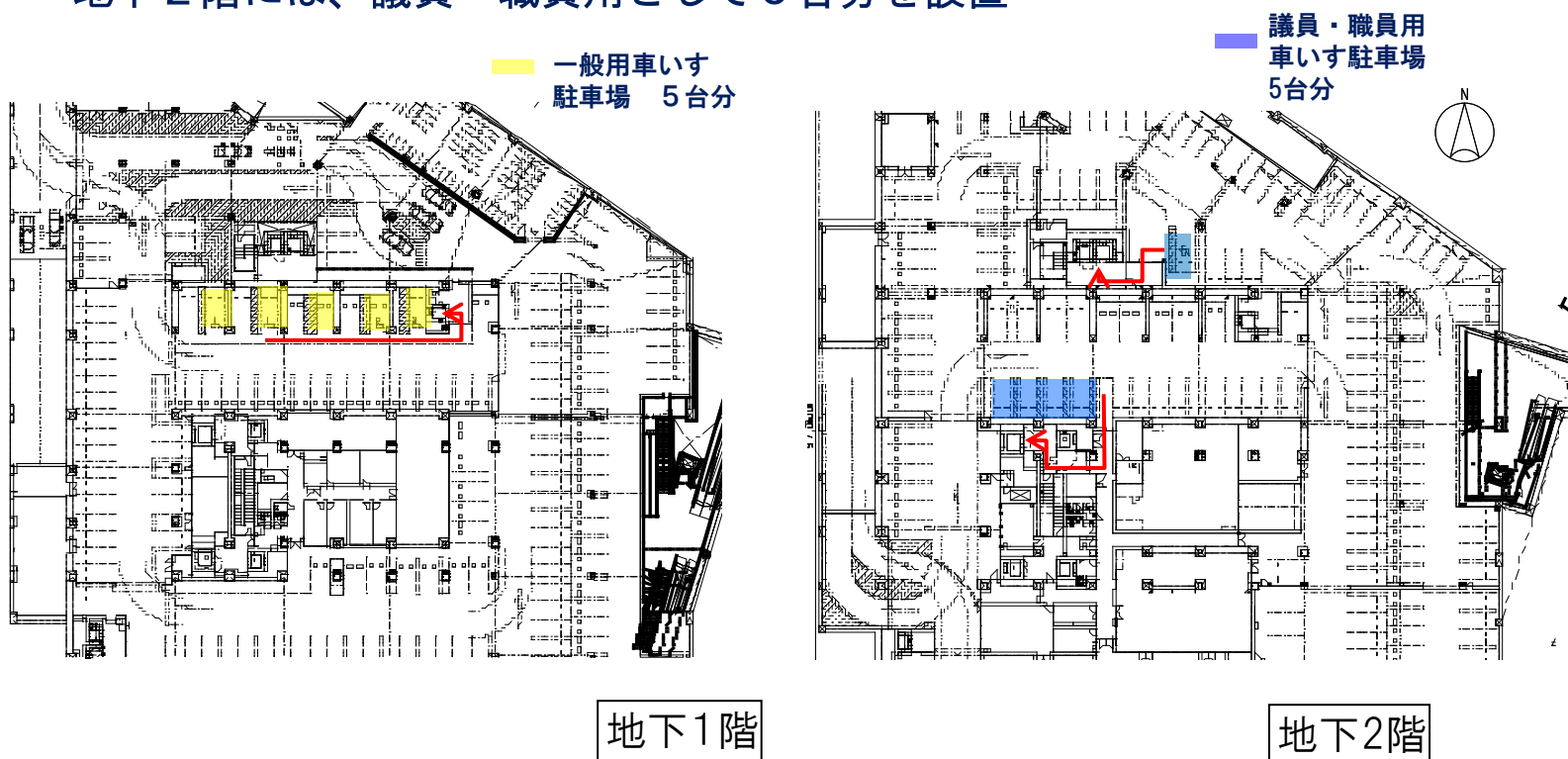
傍聴席付近に設置



ステージ周辺に設置

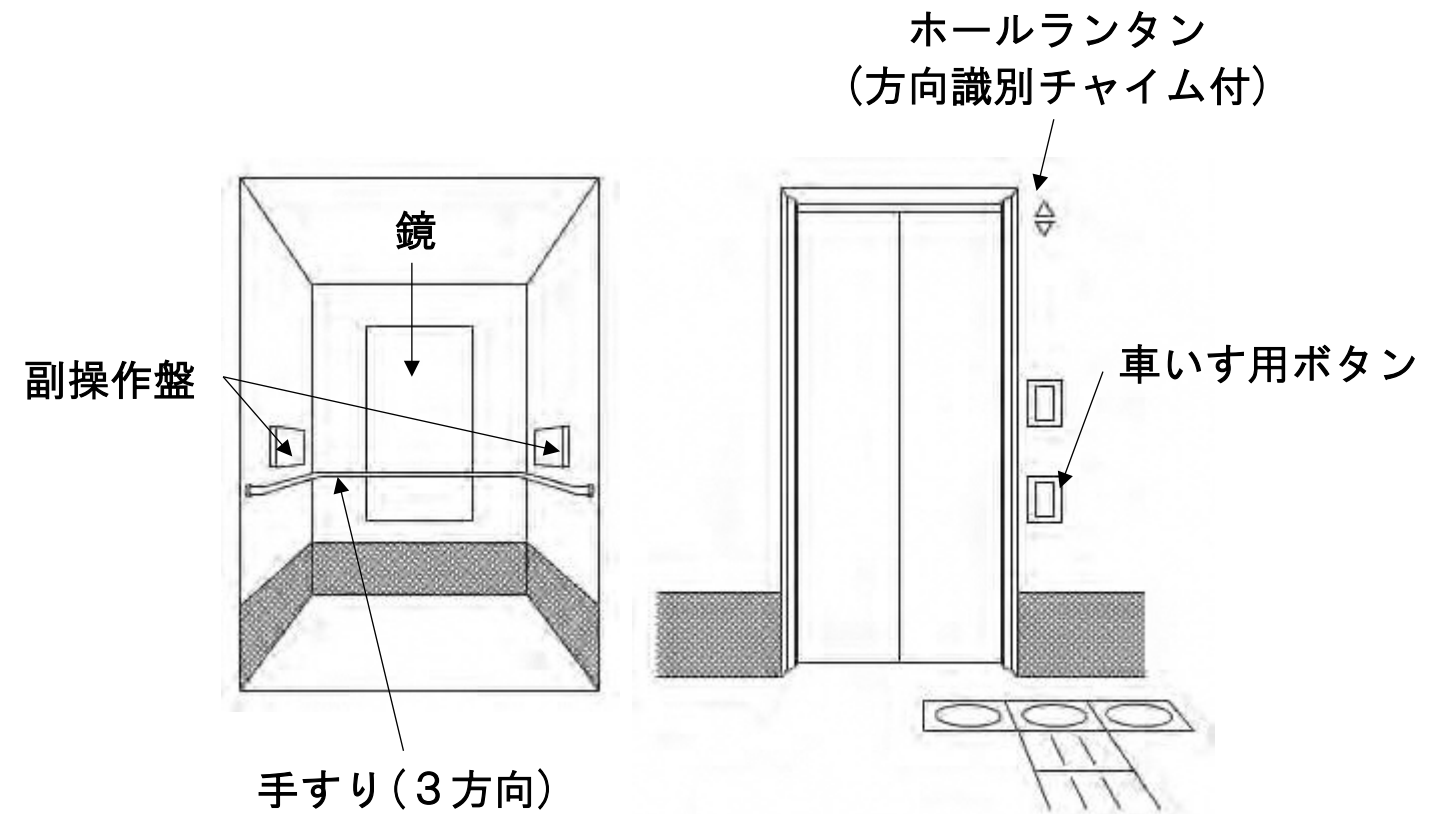
② 車いす用駐車場

地下1階には、一般用として5台分を設置
地下2階には、議員・職員用として5台分を設置



③ エレベーター

来庁者が利用する主なエレベーターは、車いす利用者や聴覚障害者に配慮した仕様とするとともに、各バンク毎1台ずつを視覚障害者の利用に配慮した仕様としています。



④ ベビー休憩室・授乳室

低層部や議会エリアには、ベビー休憩室や授乳室を配置し、乳幼児連れの利用者に配慮しています。



ベビー休憩室・授乳室の例(戸塚区役所)

議会部分は、「新市庁舎整備に向けた議会棟のあり方(答申)」の考え方を踏まえ、3つの視点から諸室の配置や動線を計画

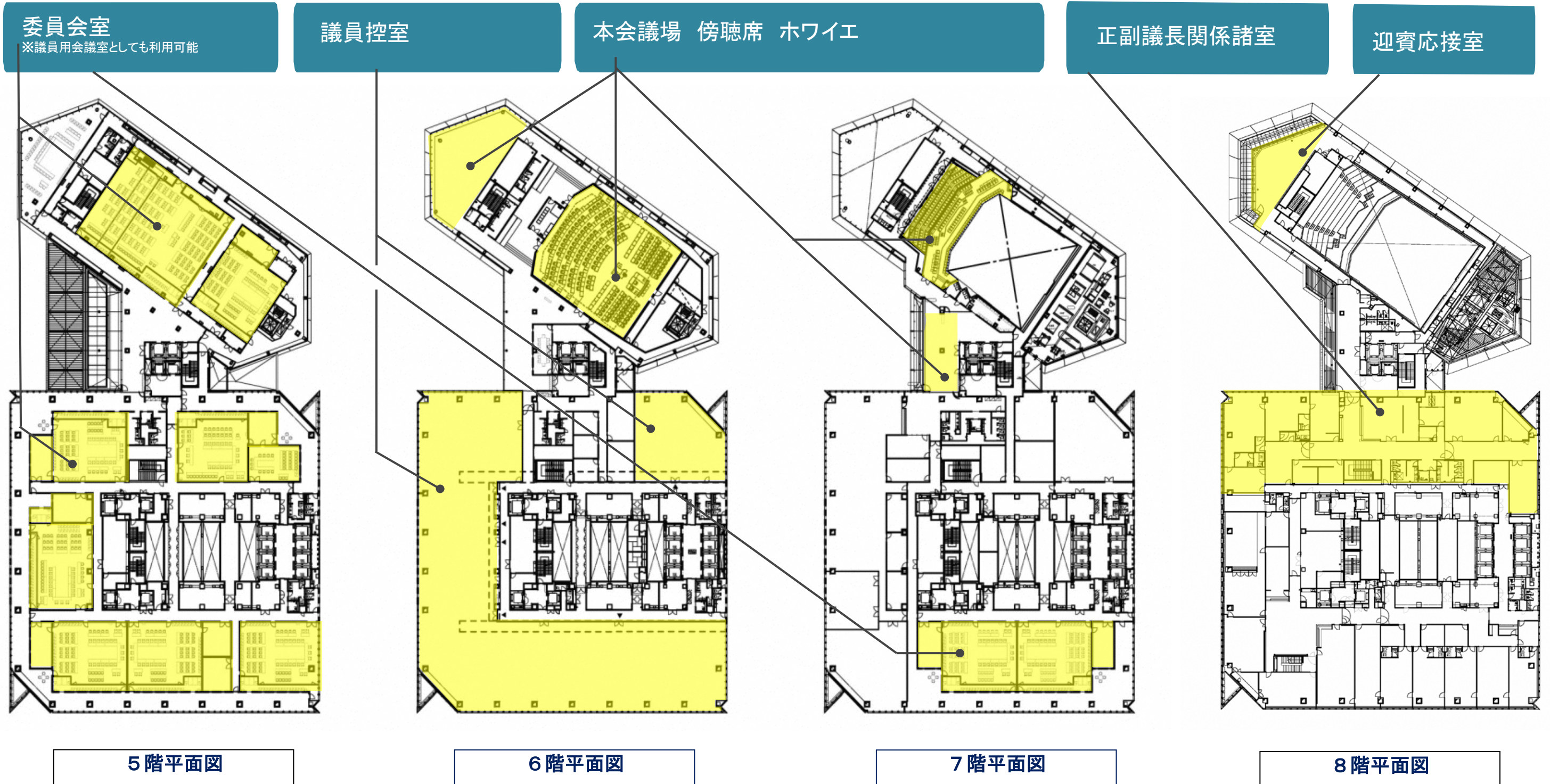
視点Ⅰ. 議会活動の効率性・機能性

視点Ⅱ. 市民に開かれた議会

視点Ⅲ. 動線の明快性とセキュリティ



- ・ 中心にあたる6階に議員控室や本会議場、5階(一部7階)に委員会室を配置
- ・ 本会議場に加え、全ての委員会室に傍聴席を設置
- ・ 傍聴者動線と議会関係者動線を明快に分離



委員会室
※議員用会議室としても利用可能

議員控室

本会議場 傍聴席 ホワイエ

正副議長関係諸室

迎賓応接室

5階平面図

6階平面図

7階平面図

8階平面図

市会の歴史を踏まえつつ、横浜らしい「海、波、船」をイメージし、音響性能、安全性、傍聴機能拡充などを総合的に考慮したデザイン

① 海をイメージさせる色彩

- 床や座面に横浜らしいシンボルカラー OPEN YOKOHAMAロゴのような青系



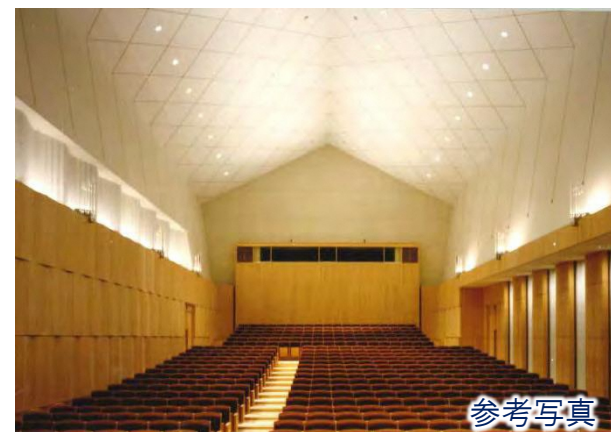
② 波をイメージさせる壁面

- 押し寄せる波を連想させるルーバー状とし、残響・吸音など音響性能を確保



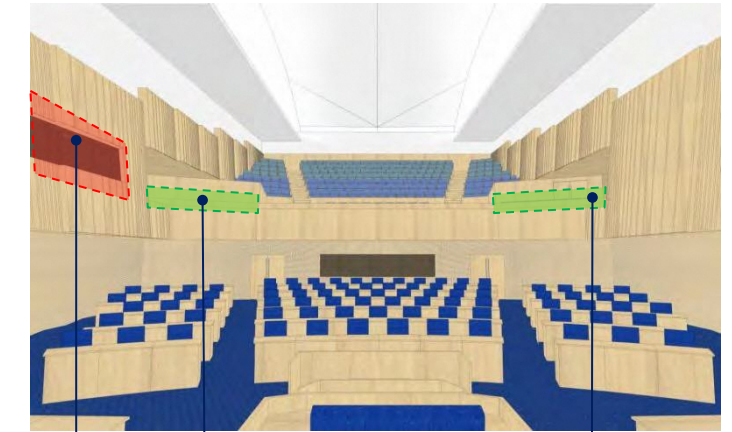
③ 船底形状の特徴ある天井

- 外観と一致した船を連想させる形状の天井
- 建物骨組に直接固定し高い安全性を確保

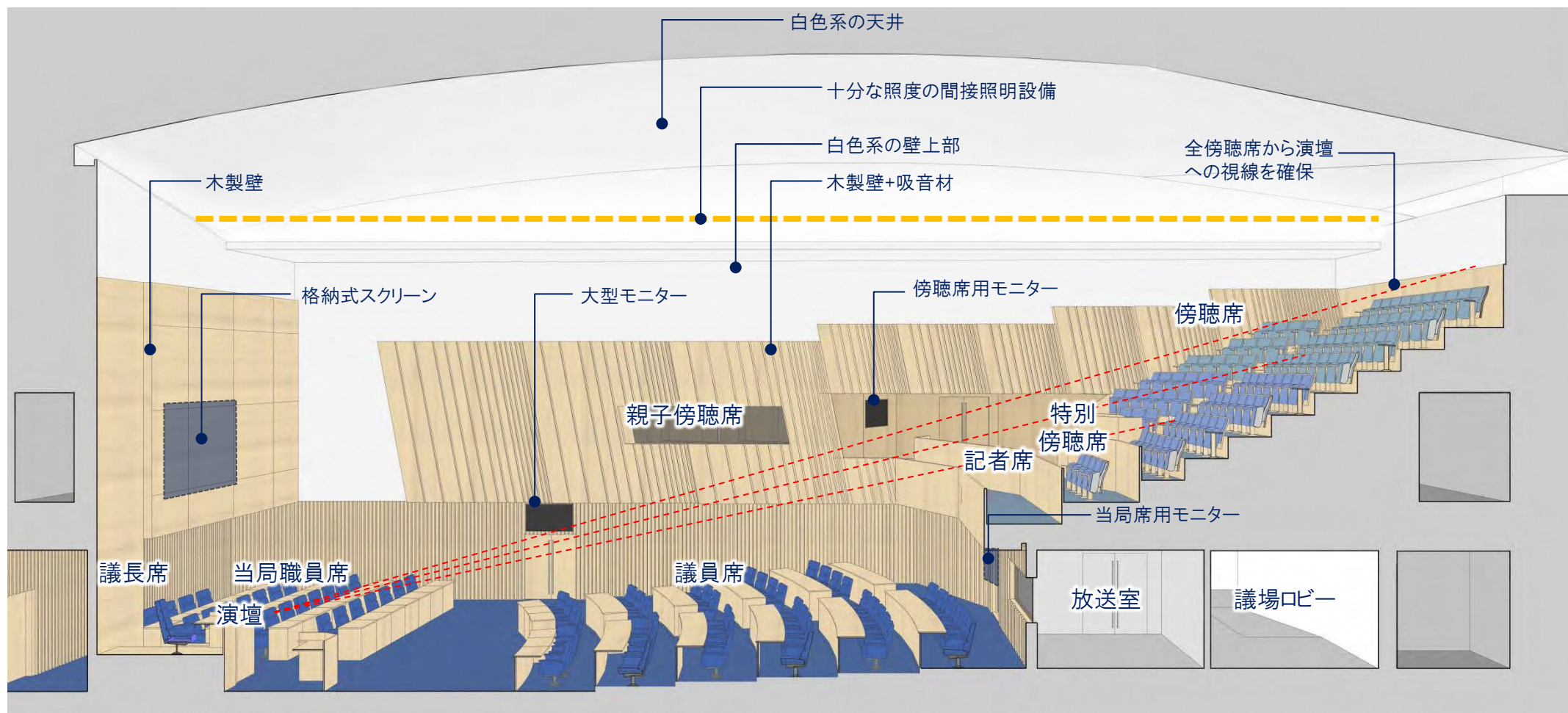


④ 傍聴席・親子傍聴席

- 車いす傍聴席を含む約220席を確保
- 子ども連れ用の親子傍聴席を新設



親子傍聴席 車いす席、介護者席



伝統ある横浜市会の雰囲気継承

- 議員席、傍聴席等の配置
- 白色系の天井と、木製の壁面
- 天井面の間接照明

効率的な会議環境の整備

- 電子採決システム
- 発言残時間/議員数・採決結果/資料等を投影できるモニター、スクリーン



全委員会室に傍聴席を新設、開かれた議会を実現

①全委員会室に傍聴席を新設

②外部に面していない室は間接採光を確保

③資料等投影用の映像設備、可動間仕切壁(全協・予決特委員会室)を整備



傍聴席イメージ



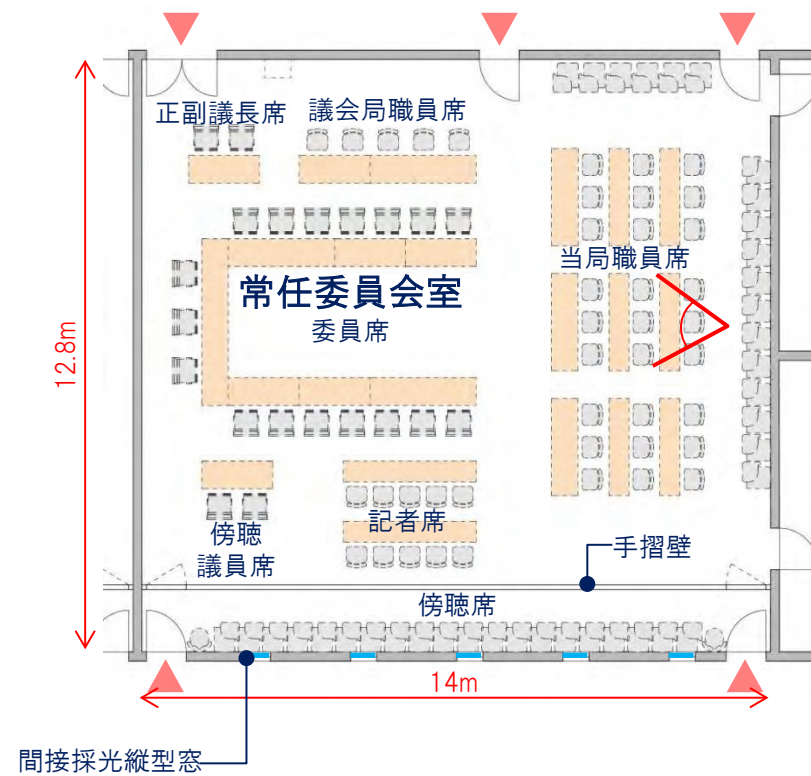
傍聴席側の間接採光イメージ



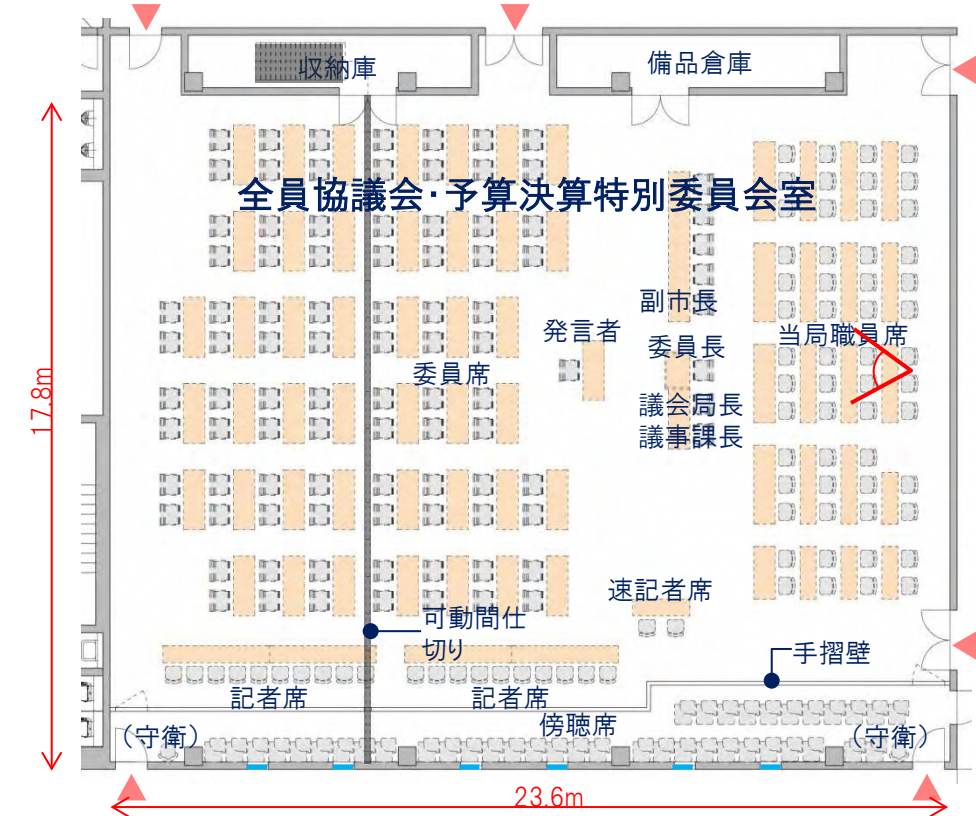
スクリーンのイメージ



可動間仕切壁のイメージ



5階、7階 常任委員会室



5階 全員協議会・予算決算特別委員会室



①一般執務室フロア 内観イメージ



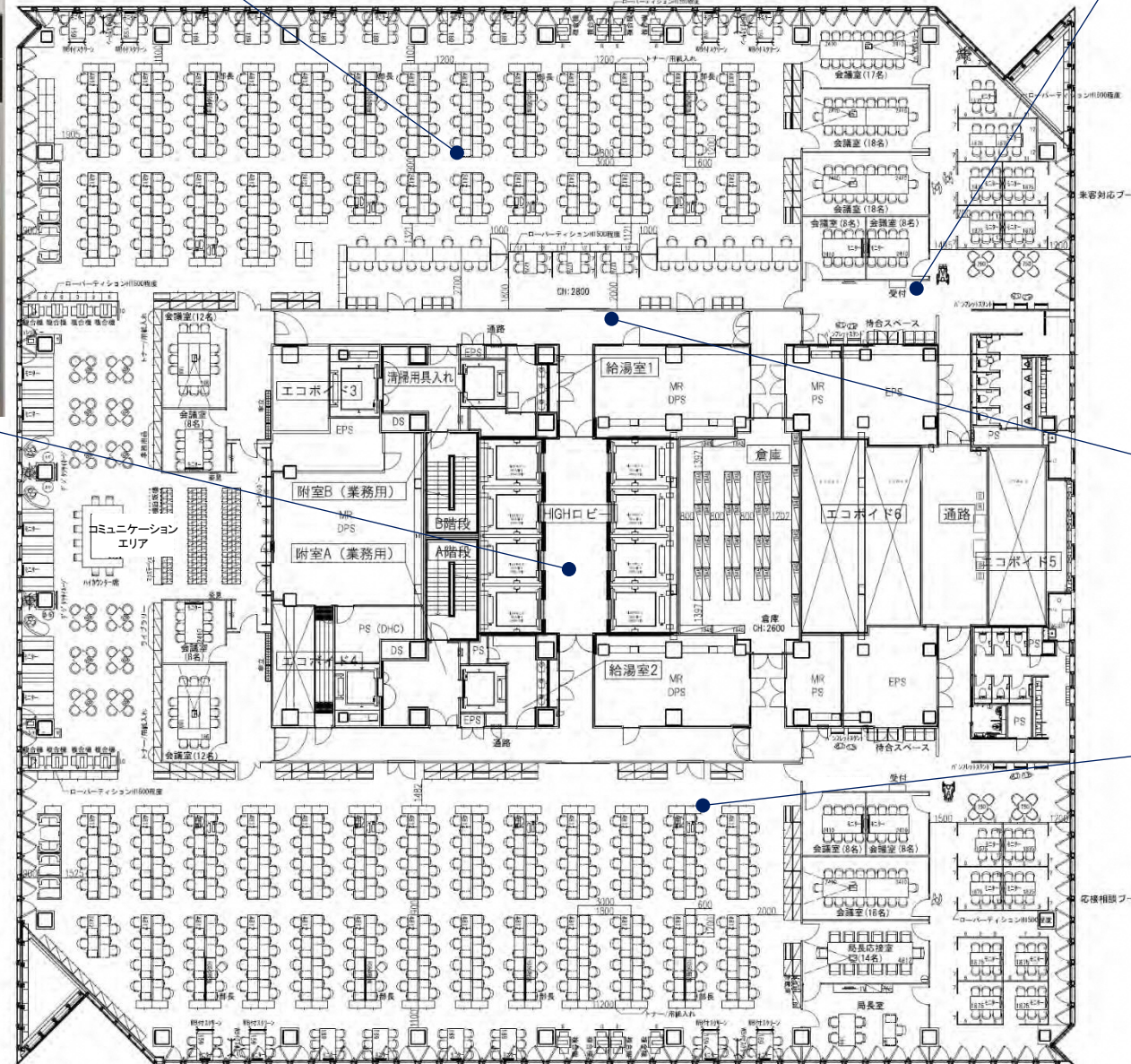
④執務室内の間仕切りイメージ



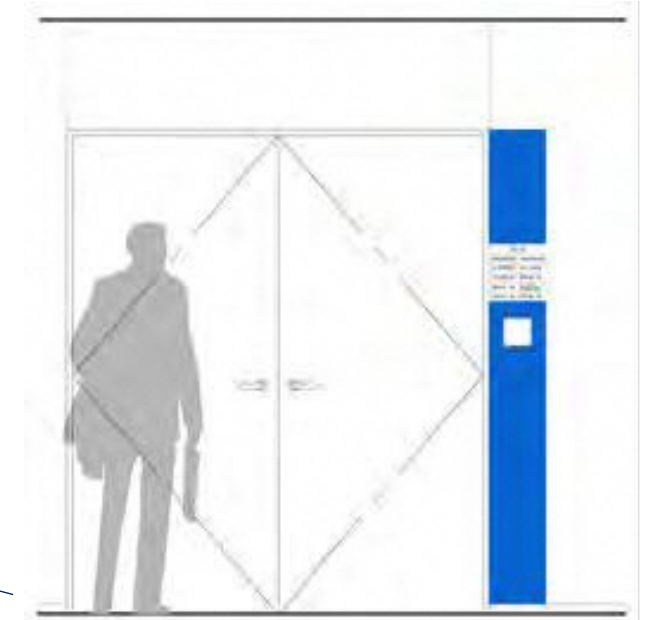
⑤一般執務室 受付サイン



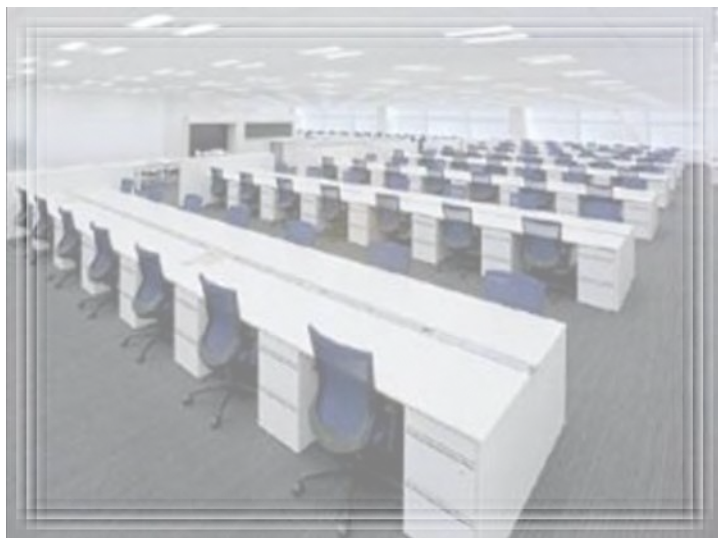
②EVホール 内観イメージ



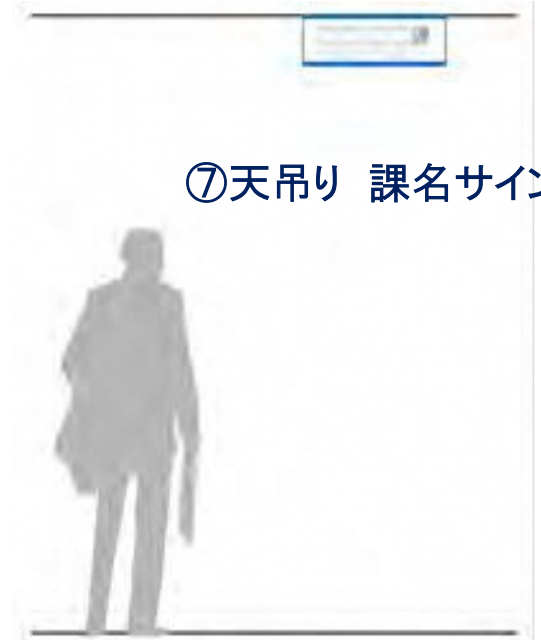
基準階平面図



⑥大部屋 室名サイン



③ユニバーサルレイアウト



⑦天吊り 課名サイン



①水辺広場



④北プラザ



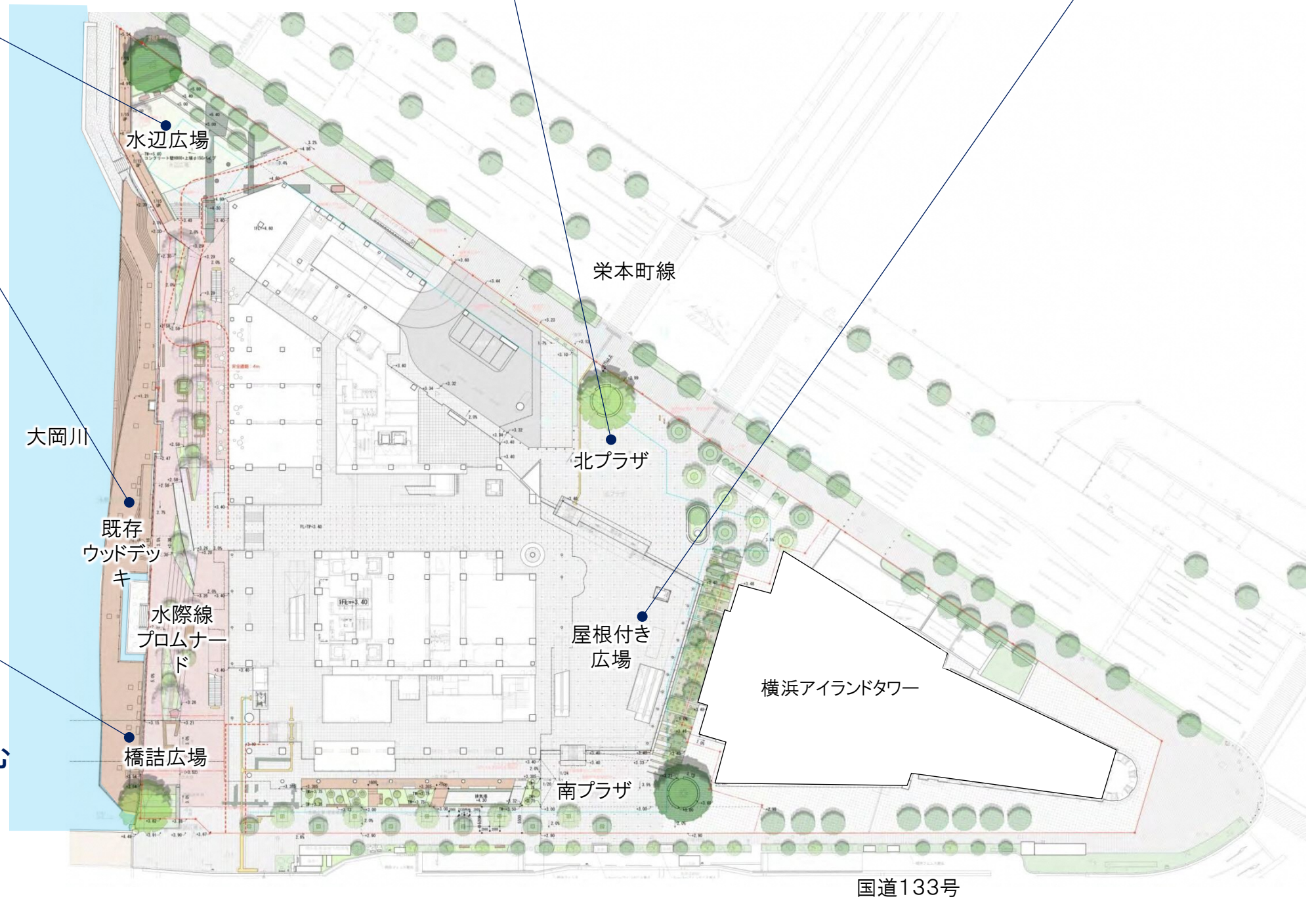
⑤屋根付き広場から外部を望む

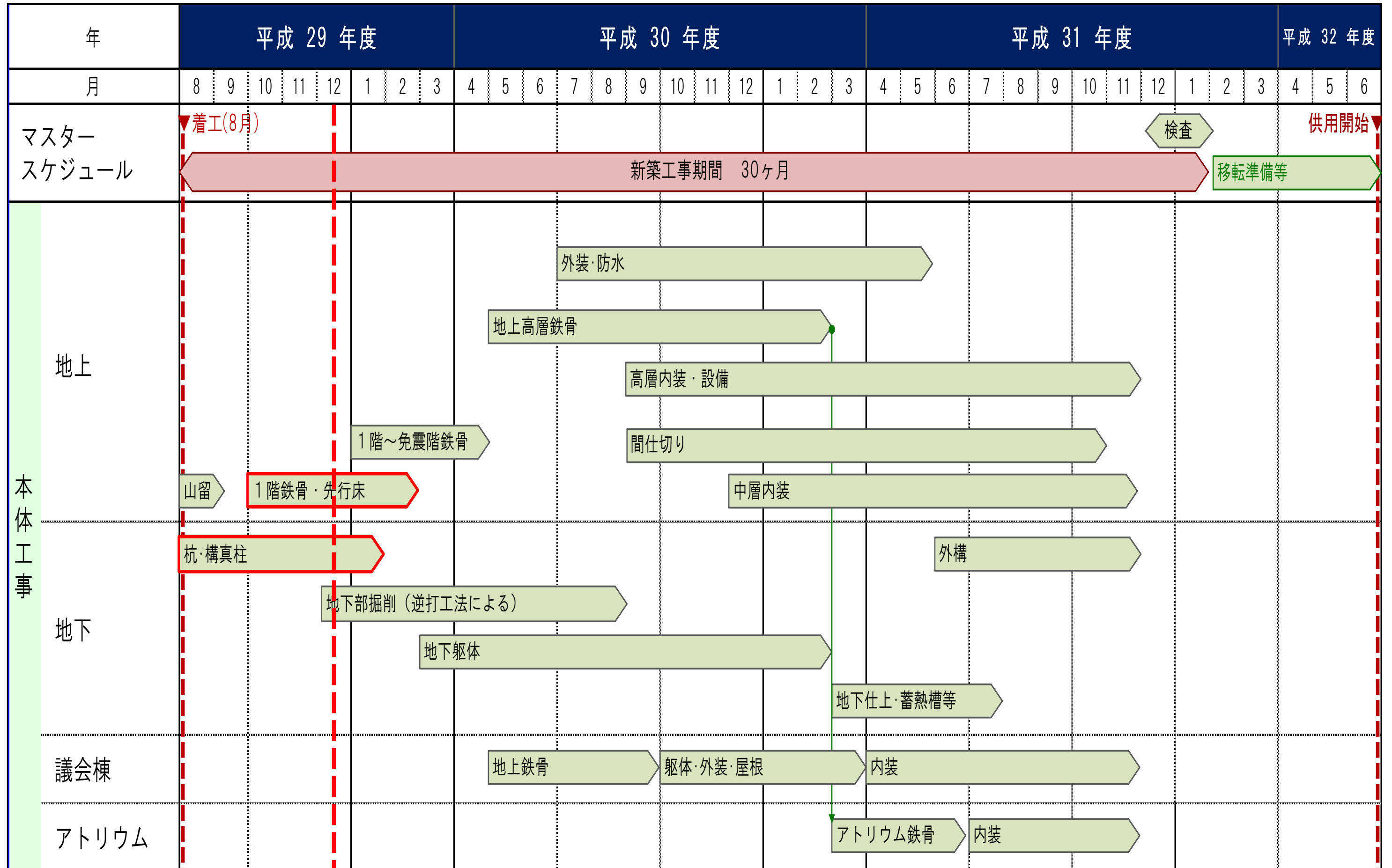


②既存ウッドデッキからの眺め



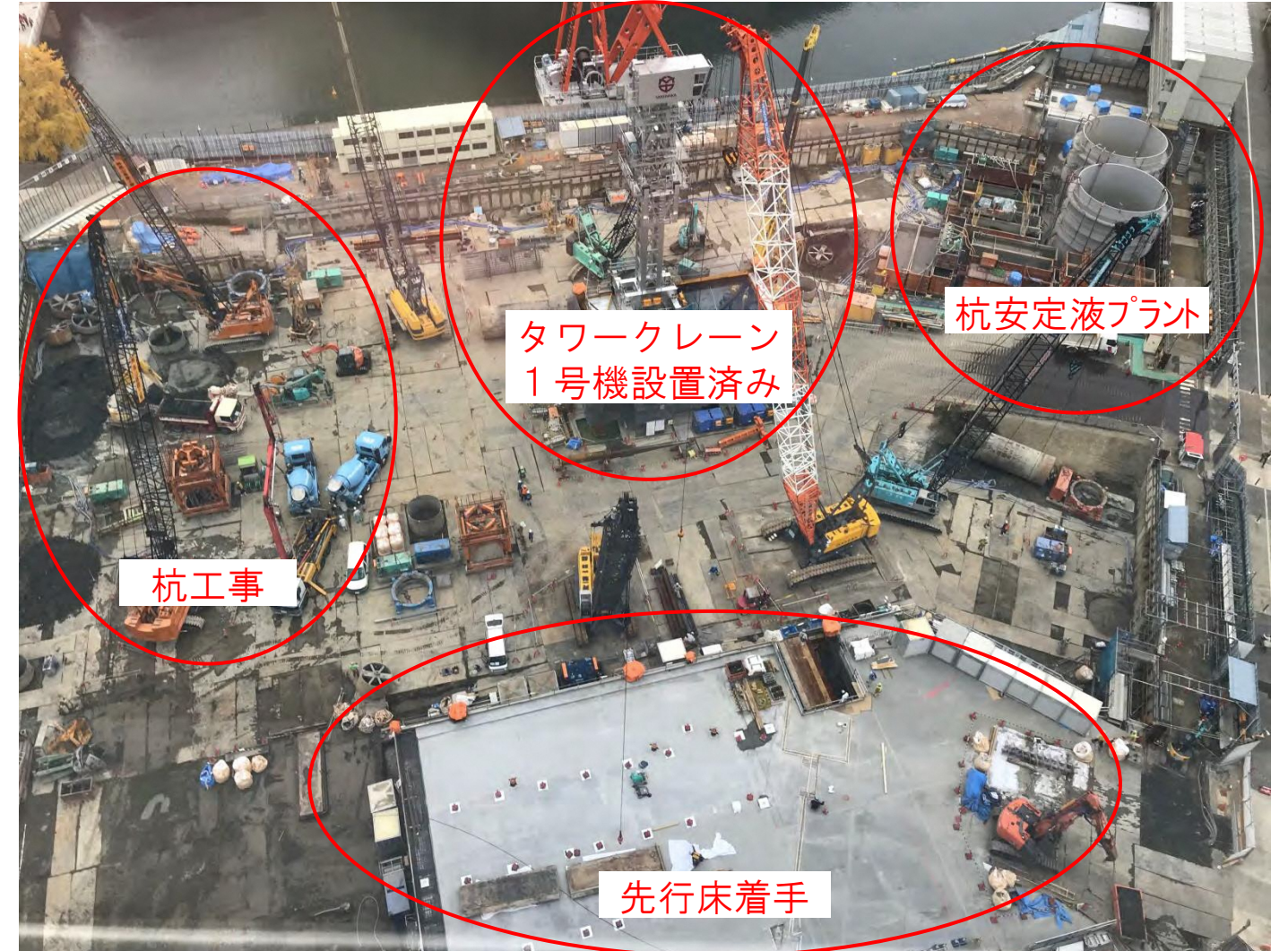
③デッキ(人道橋)から水際線プロムナードを望む



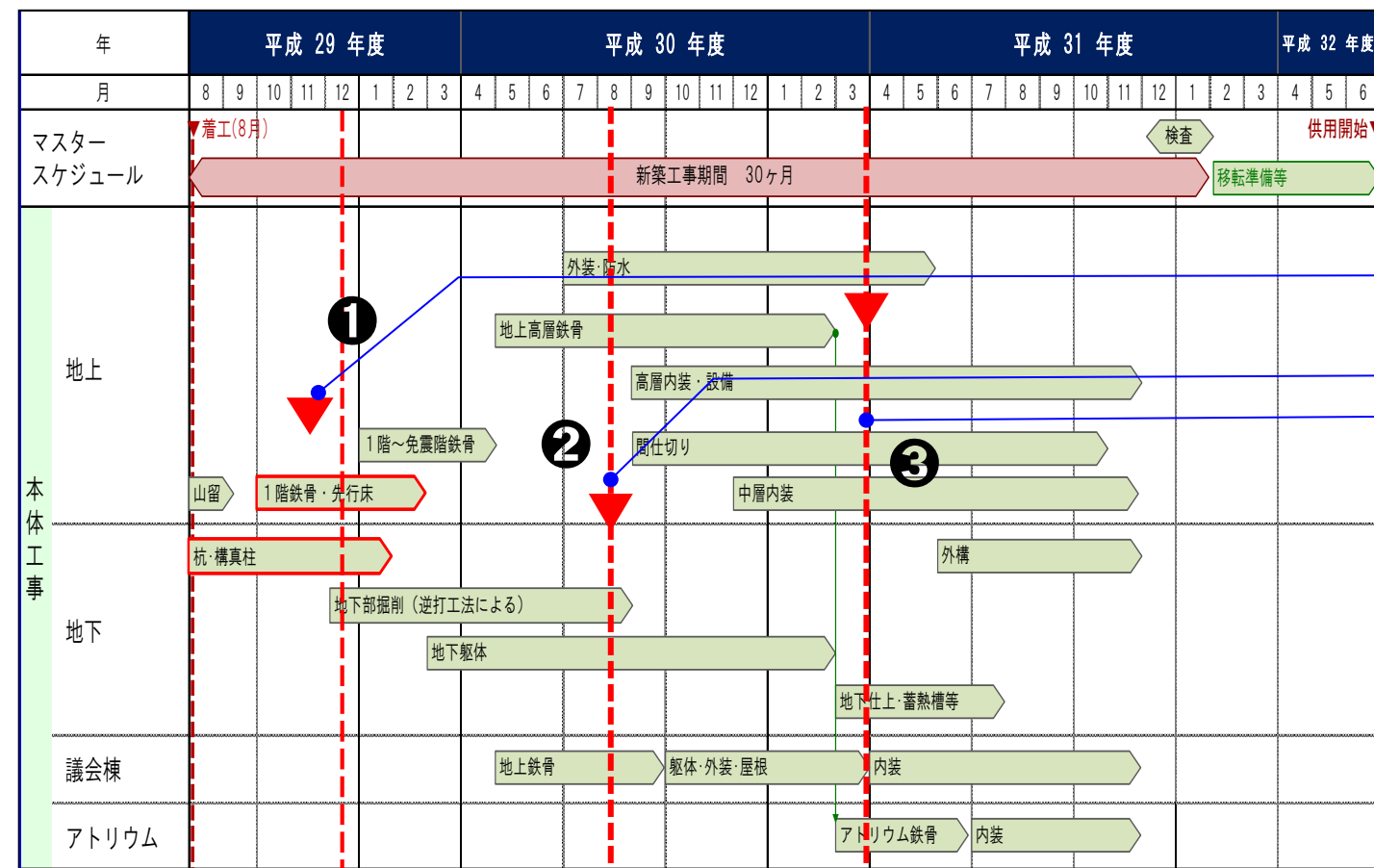




航空写真（平成29年11月末時点）



現場写真（平成29年11月末時点）



- ①平成29年12月現在
 - ・杭打ち工事順調に施工中（1月末完了予定）
 - ・一部先行床の築造
 - ・タワークレーン1号機設置（全3基）
- ②平成30年8月頃
 - ・地下部掘削完了
 - 地下約13m（地下2階）まで掘削完了予定
- ③平成30年度末
 - ・地上部鉄骨上棟完了
 - 地上約155m（32階）まで鉄骨工事を完了予定